

1 ことがらの起こりやすさ

例題 右の表は、1 個の画びょうをくり返し投げたとき、針のある方が下向きになった回数を記録したものです。100 回、500 回、1000 回のそれぞれについて、針のある方が下向きになった割合を求めなさい。

投げた回数	下向きになった回数
100	61
500	309
1000	621

100 回のときは $\frac{61}{100} = 0.61$

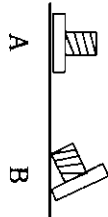
500 回のときは $\frac{309}{500} = \boxed{}$

1000 回のときは $\frac{621}{1000} = \boxed{}$

2 右の表は、1 個のボタンを投げる実験をして、表が出た回数をまとめたものです。このボタンは、表と裏のどちらが出やすいかわかりなさい。

投げた回数	表が出た割合	裏が出た割合
100	0.390	0.590
200	0.385	0.605
500	0.382	0.618
1000	0.379	0.617

3 下の表は、1 個のねじをくり返し投げたときの向きを記録したものです。表から、ねじが A の向きになった割合を求めなさい。ただし、小数第 2 位を四捨五入して答えなさい。



投げた回数	A の向きになった回数	B の向きになった回数
500	154	346

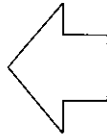
4 下の表はビンのふた 1 個を投げたときの、表向きになった回数を記録したものです。表を完成させなさい。ただし、小数第 3 位を四捨五入して答えなさい。

投げた回数	表向きになった回数	表向きになった割合
100	32	0.32
200	61	
300	87	

5 子どもと何度もじゃんけんをし、最初に何を出すかを記録すると、次の表のようになりました。

	グー	チョキ	パー
回数	13	38	22

この子どもが最初にグーを出す割合を求めなさい。ただし、小数第 3 位を四捨五入して答えなさい。



教科書 P151 の緑色の部分 2 行を理解できたら、赤で線を引いておきましょう。